

# ふしづくり はじく音色で この一首

## — 箏を使った旋律づくり —

### 教科等横断的単元

4年音楽科・国語科 1・2月〈7時間〉  
 附属新潟小学校 教諭 佐藤 史人

#### 1 本単元で目指す姿

**要素の働きを生かした表現を考え、短歌のイメージに合った旋律をつくる子ども**

具体的には、「言葉による見方・考え方」を働かせて短歌の情景を感じ、「音楽的な見方・考え方」を働かせて、音楽を形づくっている要素(以下：要素)の働きを生かした音楽表現を考え、短歌のイメージに合ったふしをつくる姿。

- 「音楽的な見方・考え方」  
音や音楽（音楽のモデル等）を、要素（旋律、フレーズ、反復、変化）とその働きの視点でとらえ、とらえたことと自己のイメージとを関連付けること
- 「言葉による見方・考え方」  
短歌の言葉の意味、働きに着目すること

#### 2 本単元で育成する資質・能力（評価基準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
音楽科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 音楽づくりの知識・技能（音やフレーズのつなげ方・重ね方の特徴の気付き、条件に基づいた即興的な表現、仕組みを用いた音楽表現）</li> <li>○ 要素（旋律、リズム、反復、変化）及びそれらにかかわる音符、休符、記号や用語について、実感を伴いながら理解される知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 即興的に表現して音楽をつくる力</li> <li>○ どのようにまとまりのある音楽をつくるかについて考える力</li> <li>○ 聴き取った要素（旋律、リズム、反復、変化）と感じ取ったよさや面白さとのかわりについて考える力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 進んで日本の音楽に親しもうとする態度</li> </ul>
国語科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 短歌（百人一首）を音読して、言葉の響きやリズムをとらえる技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 短歌（百人一首）に描かれた情景や短歌に込められた作者の思いを具体的に想像する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 短歌（百人一首）に興味を持ち、言葉の響きやリズムに親しもうとする態度</li> </ul>

#### 3 関連する学習

[第4学年] 国語科  
 「百人一首」を声に出して読んでみようー



[第4学年] 音楽科  
 「ふしづくり はじく音色で この一首ー

#### 4 単元の計画

次	【学習活動】★資質・能力	【働き掛け】	時
一次	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 百人一首を音読する。百人一首でか るた遊びをする。 ・情景を浮かべて音読する。 ・かきた遊びの遊び方を知る。 ・好きな一首を音読して発表する。 ★国語科①②③</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 短歌を提示し、情景や心情を問う。</li> <li>※グループごとに百人一首を配付する。</li> <li>※短冊を配付する。</li> </ul>	2時間
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ お気に入りの一首 「君がため春の野に出でて若菜つむわが衣手に雪は降りつつ」光孝天皇 (あなたにあげようと、春の野に出かけて若菜をつむわたしのそでに、次から次へと雪がふってくる。)</li> </ul> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 音楽づくりに興味をもつ。 ・箏でふしをつくって歌いたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ これまでの学習（調子、口唱歌、グループ演奏等）を生かして、お気に入りの一首の歌をつくることを伝える。</li> </ul>	

<p>二次</p>	<p>○ 音楽のモデルを聴き比べ、間奏のふしがある曲とない曲とでは、感じるイメージが違うことに気付く。 ・モデルAは、前と同じ感じの曲だね。</p> <p>○ <b>モデルBのような、イメージや雰囲気 が伝わる間奏のふしをつくりたい。 ★音楽科③</b></p> <p>間奏はどんなふしがよいのか (学習課題)</p> <p>○ 表現の工夫の見通しをもつ。 ・ふしが大きな声や小さな声みたい。 ・歌のふしを箏で繰り返して場面を表現します。</p> <p>○ 音楽づくりをする。</p> <p>○ <b>口唱歌の「シャ シャ テン」を高い音 で繰り返しそう。雪がどんどん降っている 感じがするよ。★音楽科②, 協働性</b></p> <p>・タブレット端末に録画しよう。 ★ツール活用能力</p> <p>・学習シートに記録しよう。</p> <p>○ <b>「きみがため(五六七八九)」を繰り返して、あげたい気持ち を表現する。「若葉つむ(七七七八八)」も繰り返して、一生懸命な 感じを出す。その後の間奏で「シャ シャ テン」を高い音で 繰り返して、歌より先に「雪が降りつつ」の場面を音で表現する。 ★国語科②</b></p>	<p>◆ <b>音楽のモデルA(間奏のふしなし)と モデルB(間奏のふしあり)を提示し、 感じたことを問う。【働き掛け1】</b></p> <p>※箏曲「奥山に」(「たのしく学ぶための 箏曲小曲集No.1」正絃社)を使ってモデル A, Bを演奏する。</p> <p>※必要に応じてモデルBを数回聴かせる。</p> <p>◆ <b>どんな表現の工夫ができそうかと問 い、工夫のアイデアを整理してから音楽 づくりの時間を設定する。【働き掛け2】</b></p> <p>※工夫のアイデアを板書で整理する。 ※3人グループで役割(箏を弾く、歌う) を決めさせる。演奏に合わせて役割が変 わってもよいとする。 ※学習シートを配付する。</p>	<p>1時間</p>
<p>二次</p>	<p>○ 自分の作品を振り返り、自分の作品 と友達作品とを比較聴取する。 ・もっと表現の工夫をしたい。</p> <p>もっと表現の工夫するにはどうすれ ばよいか (学習課題)</p> <p>・間奏のふしで「シャ シャ テン」を繰 り返して「雪が降りつつ」の場面を表現 しました。聴いてください。(演説)</p> <p>○ <b>間奏で二面の箏を重ねて雰囲気 を変えていたのがよかったです。私も やってみたいです。★音楽科③</b></p> <p>○ 新たな工夫の視点を生かして音楽づ くりをする。★音楽科②, 協働性 ★ツール活用能力, 国語科②</p>	<p>◆ <b>自分の作品を振り返らせ、中間発表会 を通して気付いたことを問う。【働き掛け3】</b></p> <p>※事前に学習シートを配付し、発表用の箏 を用意する。</p> <p>※出された工夫点や改善点を全体で共有で きるように整理し、板書する。</p> <p>※必要に応じて、二面の箏が使えるように、 近くのグループと相談させる。</p>	<p>2時間</p>
<p>二次</p>	<p>○ 音楽づくりで発揮した資質・能力を 自覚する。 ・作品発表する。★音楽科①, 国語科① ・振り返りシートを書く。</p> <p>○ <b>私たちは「君がため春の野に出でて若葉つむわが衣手に雪は降りつつ」を歌 にしました。歌のふしを反復して気持ちを表現したり、二面の箏で「雪がふる 様子」を表現したりしました。間奏のふしで「シャ シャ テン」の演奏を重ね、 だんだん小さくしながら雪の冷たさを表現できました。★音楽科②, 国語科②</b></p>	<p>◆ <b>完成発表会を設定し、音楽作品の特徴 を振り返りシートに記述させる。【働き掛け4】</b></p>	<p>1時間</p>
<p>三次</p>	<p>○ 百人一首大会(かるた遊び)をする。 ・好きな一首はぜったいとるぞ。 ★国語科③</p>	<p>※グループごとに百人一首を配付し、ト ーナメント表で大会を進める。</p>	<p>1時間</p>